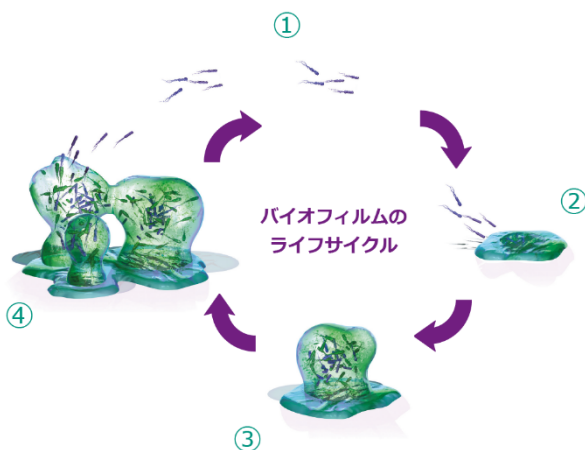


認定看護師ニュースレター第75報

皮膚・排泄ケア認定看護師の鴨川です。今回のニュースレターは創傷管理の新しい観念「Wound Hygiene（創傷衛生）」についてお話しさせていただきます。慢性創傷、難治性創傷において、90%がバイオフィルムの影響によるものとされています。バイオフィルムとは、細菌が表面に付着する際に細胞外高分子物質（EPS）として知られる粘度が高く、ぬめりのある糊のような物質が排出されることで形成されます。この物質は保護層を形成し、そこでは細菌が自由に動くこと（浮遊）ができず、創傷床に固着します。EPSに保護された状態で、新しい細菌が生まれ、コロニーが成長します。



＜バイオフィルムはどのように成長するのか＞

- ①汚染 浮遊している細菌が数分以内に表面に付着する
- ②コロニー形成 細菌が増殖し、2～4 時間以内に固着する
- ③バイオフィルムの形成および炎症性の宿主応答 最初のEPSが産生され、6～12 時間以内に耐性が増強する
- ④拡散によって全身に感染 成熟したバイオフィルムは、2～4 日以内に細菌を放出し、コロニーを再形成することにより、途切れることのないバイオフィルムのライフサイクルをもたらす

バイオフィルムに早期から対処できると治癒の速度を促進させることが明らかとなっています。Wound Hygieneを促進するためには、以下の4つのステップを踏むことが推奨されています。

1. Cleanse : 洗浄

創底を洗浄して、壊死組織、組織の残骸、バイオフィルムを取り除く。創周囲皮膚を洗浄して、垢、鱗屑、胼胝、汚れを除去する

2. Debride : デブリードマン

被覆材を交換するたびに、壊死組織、スラフ、組織の残骸、バイオフィルムを取り除く

3. Refashion : 創縁の新鮮化

壊死したり、痂痂化したり、突き出している創縁を取り除き、バイオフィルムが隠れている可能性のあるものを取り除く。上皮の遊走と創傷の収縮を促進させるために、創縁が創底になだらかに繋がっていることを確認する

4. Dress : 創縁の被覆

抗バイオフィルムおよび/または抗菌性創傷被覆材を使用して、バイオフィルムの再成長を防止または遅延させながら、残留バイオフィルムに対処する

中でも特に注目されるのが、「1.cleanse : 洗浄」です。これまで行われていた生理食塩水や微温湯を用いた愛護的な洗浄では、創面に付着したバイオフィルムや創面をコーティングするように付着している蛋白質成分の異物を除去できないとされ、創の中も界面活性剤を含んだ創傷洗浄剤で強く洗うことが推奨されています。慢性創傷では、石鹸を用い、創の中をガーゼなどで擦り洗いをするよう指導しています。

作成：鴨川千香子

承認：横山藤美